

文書

内務省 詔 第一九六號

大正元年八月十四日 詔 第一三三號
 以 稅務監督局 稅務署
 廢止 其 事務 地方廳 移
 見 制度 整理 由 考 迄 及
 送 附 置 於 處 今 又 別 紙
 通 大 山 梨 兩 縣 事 同 様
 一 意見 申 出 者 一 案 迄 迄
 考 迄 二 重 考 及 送 附 也

大正元年 十月一日

内務省 庶務課 第二部



内閣書記官長 南弘 啟

一國稅徵收事務ヲ府縣廳ニ移シテ稅務監督局及ヒ稅務署ヲ廢止シ事務簡捷ト經費節約トヲ圖ランコトヲ望ム(大分縣)

理由

現行制度ニ在テハ國稅中或種ノモノヲ除ク外其ノ大部分ハ之ヲ市町村ニ徵收セシメ府縣稅亦殆ント舉テ之ヲ市町村ニ徵收セシメツ、アリ而シテ前者ノ事務ハ稅務監督局及ヒ稅務署、後者ノ事務ハ府縣廳及ヒ郡役所、監督ニ屬セシメアリ然ルニ前者ハ市町村ニ於ケル國ノ行政事務ナルヲ以テ府縣廳及ヒ郡役所モ亦之ヲ監督ヲ為サ、ルヘカラス隨テ同時或ハ同一ノ法令ニ對シニ者ノ監督官

廳其ノ見解ヲ異ニシニ途、指揮ヲ為セル事其ノ例ニ
乏シカラスシテ市町村ノ迷惑ヲ感スル勢カラス且ヤ
其ノ徴收ニ當リテハ互ニ課税標準ノ如キ照復ヲ要
スルコト多ク其ノ他營業税ノ如キ國税ヨリ縣税ニ
縣税ヨリ國税ニ其ノ移動甚多ク又地租事務ノ
如キモ保安林開墾海面埋立地ノ賦租公立學校
地成又ハ道路成河敷成等ノ免租等同一關係事
件ヲ現今ノ如ク二箇ノ官廳ニ於テ取扱フハ一般
人民ノ不便ハ勿論之カ事務取扱者ニ於テモ其ノ進
捗ヲ妨クル場合多ク殊ニ國税ヲ滯納スル者ハ府縣税
ヲモ滯納スル者多キヲ以テ各方面ヨリ出張差押ヲ為
シ登記ヲ為スカ如キ實ニ無用ノ勞費ヲ要スルヲ以テ
國税ノ徴收事務ハ舉テ之ヲ府縣廳ニ移シ府縣

廳ハ其ノ事務ノ市町村ニ屬スルモノハ府縣税徴收事務
ト同シク之ヲ郡衙ニ委任セハ徴收上ノ便益蓋シ勢カラ
サルノミナラス経費ヲ節スルコト亦多大ナリト認ムルニ
由ル

一 稅務監督局、事務ハ府縣ニ稅務署、事務ハ郡役所ニ合併件（山梨縣）

理由

(1) 複雑ナル機關ヲ單一ニシ (2) 稅務官吏誅求ノ弊ヲ防キ隨テ幾分カ地方稅源、涸竭ヲ免レシメ (3) 國費ヲ節約スルコトヲ得ヘシ依テ前記ノ如ク改正アラシコトヲ望ム